

明書

親愛なる同志諸君!!

吾等は何故に協議會

から退場したか

去る五月八日（本部委員長並各支部選出大阪聯合會大會出席代

議員）の協議會の席上吾等が中途に退場したる理由は

先に吾總盟全國大會開催以後、度々開かれた大阪機械労働組合の種

々の會議並會合に於て幹部派の諸君に反対したる其の精神は、

吾總同盟並に日本の労働運動の發展の爲を思つたからである。

親愛なる同志諸君!!

然るに今彼等幹部は組合運動に就いて何等考慮する處なく、只少數幹部の地盤擁護の爲に大阪聯合會大會に於て、吾等が多年の僚友である大阪電氣労働組合大阪印刷労働組合の二組合を、大阪聯合會より總同盟より除名せんとしたのである。此の重大なる問題に對して吾等機械労働組合の少數代議員は、公正なる立場から自由討論を主張したのである。從來機械労働組合の決議は、一部少數の最高幹部の獨斷と專制的威儀に依り、多數幹部を首從せしめ、正論である吾等が主張に一顧だむ與へず多數を以つて幹部の我意を押し通して來たのである。

吾等が大阪聯合大會に自由討論を主張したのは半重大なるが故に少數にても新しく如き意見がある云ふ事は大會出席代議員諸君の考慮に入れられん事を希望せるが故であつた。

然るに彼等幹部は吾の意見を組合全體の意見の如く装はんがため大會に出席する代議員をして自由討論を許さず、飽くまで自己の意志を組合員全部の意志の如くに社會を躊躇せんとしたのである。此處に於て吾等は幹部の斯の如き頗る劣なる陰謀に對して、そうした手段の誤れるを指摘し、以て正しき見地から批判なし、附つて吾が機械労働組合を眞に労働運動の立場に立つて大阪聯合會の中堅たらしめんが爲せらるを彼等幹部は、陰険惡辣にも吾等のこうしたの言論に壓迫を加へ、そののみならず大阪聯合大會出席代議員の資格剥奪を決議を加へたのである。

最早斯の如き状態にたち至り吾等は幹部派のかゝる卑劣なる暴舉に厭びるに忍びず、涙をのんで断然席を蹴つて退場なればならぬ事態に至つたのである。

親愛なる同志諸君!!

見よ彼等幹部の不誠意を

應せざる旨を通告し來つた。

右調停案に對する刷新派の回答

一項に對しては法規上解散は承認致しますが、實際上解散する事は困難であるから、大會に控訴して居る事を認められ、現状の態にし得て置いてもらひ度い、かそれも不可なれば解散致します。故に本部の直屬部を設けられ、直屬版を出され、其の兩機關に參與させて貰ひ度い。

二項は承認

三項は全部中央委員が辭任する必要は無いと思ふ。

四項は之を承認し、尙必要であれば幾名でも辭任致します。

右の解答を見る時に彼等幹部の不誠意を何人たりとも認めるを得ないであらう。

即ち、最後に彼等幹部は、かかる重大問題に對して、あかも香具師の如き下劣なる懸引と何等變るところはない行爲を、敢てなし幹部の態度は一般民眾運動の精神を没却したものである。殊に地方評議會の除名取消しの不承認に至つては、評議會が除名通告の聞き入られらざる事情にあるを知り、故意に取つた行爲にして憎む可き罪悪の一つである。

吾等は思ふ今少し幹部諸君にして誠意あり總同盟の進路を誤らさざる様に努力するの志あらば、何故に一般組合員に此の調停案を示さし、全組合員に聞らなかつたか、恐らく組合員諸君は直ちに此の調停案を承認したであらうに斯の如き一個の事實を見るも彼等幹部の如何に無誠意非常識なるかを知る事が出来る。

全國大會の陰謀

全國大會に於いて彼等幹部は、關東同盟の官僚幹部と通謀し神聖なる我が總同盟全國大會に於て奸策を講じ自己の窓のまゝに爲したものである。以下其の眞相を發表し、幹部の首動を指摘せん。大會の諸案として關東地方評議會から婦人部設立の件を提案する豫定なりしも、幹部派は、若し評議會の名に依つて提出するならば其の諸案の内容の如何にかゝらず絕對に反対と主張し、大阪から提出の止む無きに至らしめた事實ある。今後の労働運動の發展進歩の上に重大なる關係有る諸案を、甲が提案すれば乙が反対して乙から提出するならば養成する等は、實に自語同斷であり、大會の神聖降臨祝したる行動でなくて何んである。又大會第三日の最終日にを名前題を提出するに就いて、吾等は自己の目的の貫徹せざるを知り卑怯にも陰謀をめぐらし資格無き「ニワカ」通りの代議員を開東同盟の中に送り、以つて大會の決議を左右せしやうとした。是れ大會をして彼等少數幹部が我が黨のまゝに爲し大會の權威を冒涜した行爲で